

アカデミック英語 No.6

英語で数値・データを引用する ― according to・as shown in・figures indicate を使った論証

導入文

英語の論述でデータや数値を「ただ並べる」だけでは、採点者には「引用と解釈が区別できていない」と読まれる。according to・as shown in・data indicate・figures suggest など「データを論証に組み込む表現」を習得することで、データを根拠にした説得力の高い英語論述が書けるようになる。

講義概要

英語論述・面接でのデータ引用表現（according to・as shown in Figure・data indicate・statistics suggest・a study found that）を体系化する。データの紹介・解釈・評価の3段階に分けて表現を整理し、医学・科学テーマの英語論述でデータを効果的に使う技術を習得する。

授業目標：英語論述でのデータ引用を「並べるだけ」から、引用・解釈・評価の3段階で論証に組み込む技術へ変える。

対象者：高2（英語得意層）～高3・浪人生。英語論述・面接がある難関国公立・医学部受験生で、データを使った論証力を高めたい生徒。アカデミック英語No.1～5の受講後が望ましい。

授業時間：授業90分＋演習・質疑応答30分

到達目標：データ引用表現を3段階で使い分けられる／数値を解釈と共に論述に組み込める／データの限界を英語で表現できる

授業構成（90分）＋演習・質疑応答（30分）

授業90分：1 導入：データを並べるだけの論述と組み込む論述を比較 2 3段階の整理：紹介・解釈・評価の区別 3 紹介表現：according to・as shown in・data indicate の使い方 4 解釈表現：This suggests that…・These findings imply… の使い方 5 評価表現：However, these data have limitations…の使い方 6 演習：医学データを3段階で組み込む英語論述を書く 7 まとめ：「引用→解釈→評価」の順で書く習慣を固定

追加30分：グラフ付きの医学テーマで3段階のデータ引用論述（150語程度）を書く演習とフィードバックを行う。

板書・スライド骨子：3段階の定義と区別／引用・解釈・評価の表現一覧／論述骨子テンプレート（データ引用型）／限界表現のパターン

課題：医学データを含む英文を1本読み、そのデータを使って「引用→解釈→限界評価」の3段階で英語論述（120語以上）を書く。

備考：高校・予備校の先生方／編入学試験および大学院受験への橋渡しの基礎確認をしたい方にも対応。